

## ことばのうみ

宮城県図書館だより

MIYAGI PREFECTURAL LIBRARY No.

46

2013. 12

特集

## あたらしい取組 —よりよい図書館を目指して—

## 図書館見学ツアー

閉架書庫内で“豆本”を閲覧中。  
毎月第3土曜日13時~実施しています。

## 気仙沼図書館の思い出

気仙沼市本吉図書館長 千田基嗣

今の気仙沼図書館は昭和四十四年にオープンしているのですが、私が小学生の間は気仙沼小学校正門の脇の木立の中にあつた小さな洋風の趣の木造建築であつたことに間違ひはない。木立といつて、風通しのよいまばらな雑木林ではなく、深い森のようになにかうっそうとした昼でも薄暗い場所だつた。

中に入ると、壁面は高いところまですべて本棚で、北向きの天窓から入る光はあつても明るすぎるものではなく落ち着いた風情であり、その奥には何度か建て増した建物が続き、中2階があつたり、迷路のように隠し部屋が出てきたように思う。

その図書館の主が、白髪何千丈かというようになひげも伸ばした老人で、眼光鋭く、何を言われたわけではないが、子どもには怖い存在であつた。それが、気仙沼図書館の初代仙人、いや、専任館長菅野青顔（せせがね）であつたことは言うまでもない。

震災を経て新しく再建する図書館が、昔のような薄暗く小さな建築、というわけには行かないが、明るく快適ななかに、深い本の森に迷い込んだようなどこか謎めいた魅力、一種の魔法めいた歴史、それは、気仙沼の、と限定されるものではなく、どこの図書館であつてもそうなのだと思うが、そういう歴史に連なるものとなれば、なお有り難いことだ。

